

都市みらい通信

IFUD LETTER
Institute for Future Urban Development

平成13年6月

(財)都市みらい推進機構

まちづくり情報

- ・にぎわいのあるまちづくり
サンポート高松一部オープン

都市みらいカレンダー

- ・財団人事異動

トピックス

- ・都市再生本部 最新情報

平成13年6月30日

まちづくり情報

当財団では、昭和62年度当地区が「高松港頭地区」と呼ばれていた頃より、まちづくり総合支援事業の前身である「新都市拠点整備事業」の総合整備計画を策定する業務以降、県・市における各種調査のお手伝いをさせていただいております。

香川県の県都高松市は、古くから本州との交流拠点として港とともに発展してきましたが、瀬戸大橋の開通や、高松空港、高速道路などの整備により、近年は社会環境が大きく変化してきております。このような中、香川県が四国及び瀬戸内交流圏の中で主要な役割を担い、さらに発展するための拠点として、このサンポート高松（高松港頭地区）は、今後の開発が期待されています。

にぎわいのある街づくり サンポート高松一部オープン

1 はじめに

香川県及び高松市が、四国及び環瀬戸内交流圏の中で主要な役割を果たし、さらに発展していくため、新しい拠点づくりを進めているサンポート高松が、去る5月13日に一部オープンしました。12日、13日に催した「オープニングフェスタ」は、8万2千人の来訪者でにぎわい、新しい街が未来へ躍動を始めました。

2 オープンした施設の概要

5月13日にオープンした施設は、「高松港旅客ターミナルビル」、「高松港レストハウス」、岸壁、浮桟橋などの港湾施設と、地上4階建て、人に優しいバリアフリーを取り入れた「JR高松駅新駅舎」、「駅前広場」、「駅前広場地下駐車場(395台)・駐輪場(2,307台)」などの都市施設です。また、同月24日には、地上21階建て、約500人宿泊可能な都市型ホテル「全日空ホテルクレメント高松」が開業しました。

海の玄関となる「高松港旅客ターミナルビル」は、地上8階、地下2階、延べ床面積約8,400平方メートルの建物で、1階には発券所、2階には待合室、3階には高松港や宇高連絡船の歴史をはじめ、県内の観光情報や島々を紹介する展示スペースを設けています。また、5階から8階までは、港湾関連の業務スペースとなっています。

旅客船の発着場所として新たに整備しましたのは、大型旅客船の2万トン級バース、中型旅客船及び島しょ部フェリーの予備用の5千トン級バース、小豆島、直島を結ぶフェリー用の3千トン級バースと、阪神方面、小豆島方面への高速船、女木島、男木島航路用の浮棧橋です。

また、「高松港レストハウス」には、休憩スペースと海辺のレストランがあります。

3 今後の課題

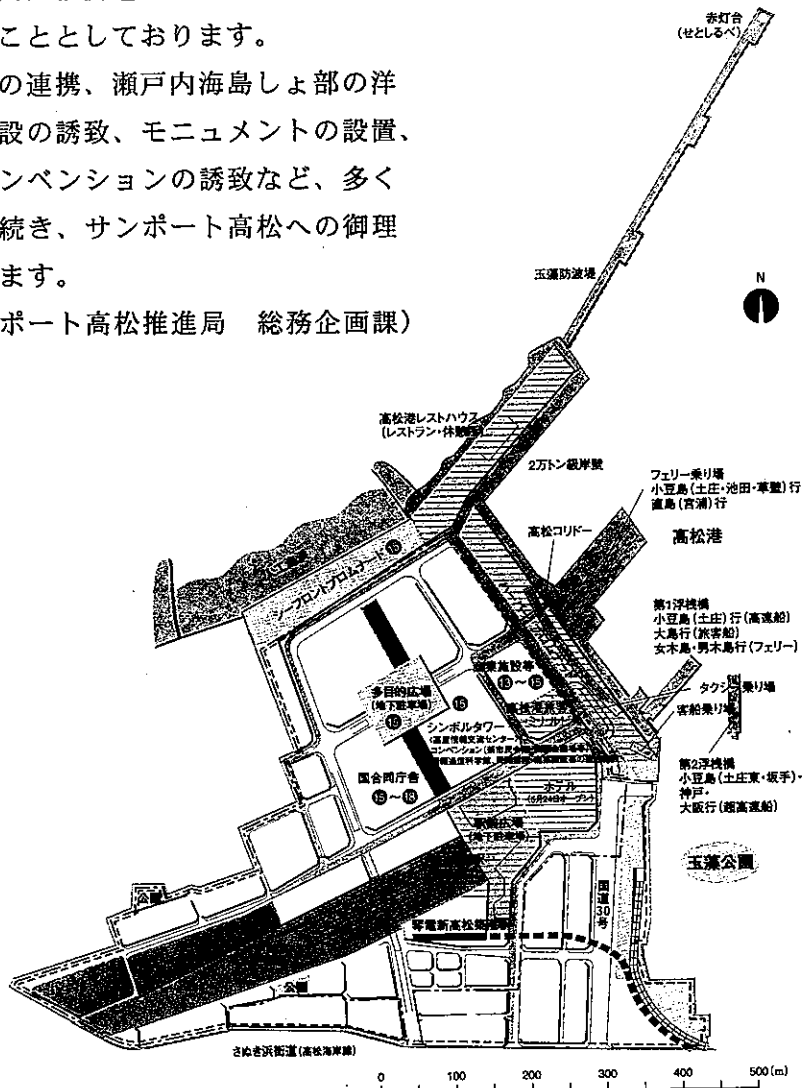
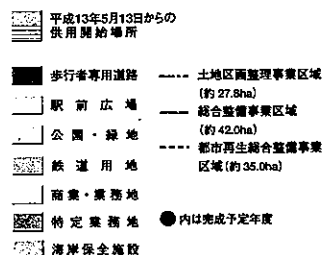
本年夏には、平成16年春のオープンを目指して、地上30階建ての「シンボルタワー（仮称）」をはじめ、「多目的広場」、「同地下駐車場（約300台収容）」などが着工される予定です。さらには、高松市内にある国の出先機関を集約した合同庁舎の建設も計画されております。

また、サンポート高松が、一層魅力にあふれ、県内外の人々に親しまれ、にぎわいのある街とするためには、多彩なイベントの開催や情報発信など、ソフト事業を積極的に推進していくことが重要となっております。12年12月に、官民が一体となって、「サンポート財団」（理事長：藤井義弘関西経済連合会副会長）を設立し、にぎわい創出に向けたソフト事業戦略を展開していくこととしております。

今後、高松中心市街地との連携、瀬戸内海島しょ部の洋上観光の推進、民間商業施設の誘致、モニュメントの設置、ポートセールス、大規模コンベンションの誘致など、多くの課題がありますが、引き続き、サンポート高松への御理解と御協力をお願いいたします。

（寄稿：香川県土木部サンポート高松推進局 総務企画課）

土地利用計画図



□トピックス

都市再生本部の動き

「都市再生本部」が5月8日に正式に設置されてから都市みらい推進機構ではあらゆる方面の協力を得て「21世紀型都市再生プロジェクト」関連情報収集と本部事務局並びに国土交通省内の都市再生推進室に各種の情報提供を進めて参りました。

5月22日には財団の賛助会員を対象に懇談会を開催し、その席においてのアンケートをもとに各企業からの都市再生本部関連ヒアリングを5月29日から6月6日にかけて実施いたしました。15団体からのヒアリング内容は、早速都市再生推進室に報告し、次のようなコメントをいただいております。

都市再生本部関連ヒアリングに対するコメント

国土交通省 都市・地域整備局
まちづくり推進課 都市総合事業推進室長
(兼) 都市再生推進室次長

○今回「都市みらい推進機構」による各企業ヒアリングが実施され、その内容が報告された事に対し次のようなコメントを報告する。

1. 短期間にもかかわらず、各企業から多方面にわたる熱意ある提案にふれることができたことに感謝している。
2. 財政状況は依然として厳しいが、都市再生本部が打ち出した基本的な考え方を、より具体化する事が次のステップにつながるものと考えている。
3. 都市再生から日本再生へとつなげるためには、民間の英知と機能をフルに導入した官民協働のスタイルが今後も必要不可欠と考えるので各方面のご協力をお願いする。
4. 今後の都市再生本部の動きは未定であるが、次の節目の時にまた意見を聞かせていただくこともあろうかと考えている。そのときはまたよろしく願いたい。

以 上

○次に、6月14日に都市再生本部が第2回本部会議を開催し、次のような決定をした。

都市再生プロジェクトに関する基本的考え方

1. 「都市再生の意義」

我が国経済を再生するためには、活力の源泉である都市の魅力と国際競争力を高め、その再生を実現することが必要であり、民間による都市への投資など民間の力を都市に振り向ける事が決めてとなる。

2. 重点的な都市再生の取り込み

- ・我が国経済の牽引役である大都市圏を豊かで快適な、かつ、経済活力に満ちあふれた都市に再生することに取り組む。
- ・地方都市については、人と自然との共生、豊かで快適な生活を実現するためのまちづくりとして、市街地中心部の再生、鉄道による市街地分断の緩和・解消など共通する横断的な、かつ、構造的な課題に絞って都市の再生に取り組む。

3. 都市再生プロジェクトの選定の考え方

(1) 都市再生プロジェクトの意義

内閣が定める都市再生のための統一した方針の下に様々な主体が協力して具体的な行動をとる行動計画として位置づける、とともにプロジェクト推進の上での必要な規制のあり方の点検、さらに制度の強化、充実などの制度改革、運用改善も含む。

(2) 都市再生プロジェクトの選定の視点

- ①国際競争力のある世界都市の形成、安心して暮らせる美しい都市の形成、持続発展可能な社会の実現、自然と共生した社会の形成などのリーディングプロジェクト。
- ②地震に危険な市街地の存在、慢性的な交通渋滞、交通事故など都市生活に過重な負担を強いている「20世紀の負の遺産」の解消する緊急課題プロジェクト。

(3) 都市再生プロジェクトの選定方針

①プロジェクトの内容は

- ア. 都市構造にかかる基本的課題に取り組むもの
- イ. 従来とは異なる新しい手法により取り組むもの

②経済構造改革につなげるために

- ア. 民間投資への大きな誘発効果を持つもの、民間のノウハウを活用するものなど、民間の力を引き出すものであること。
- イ. 虫食い土地の整形化による有効利用など、土地の流動化に資するものであること。

4. 地方都市に共通する課題への取り組み

地方都市に共通する横断的な、かつ構造的な課題について、その抽出を行うとともに、その解決のために必要となる諸施策の構築に取り組む。

- 上記の基本的考え方から、都市再生本部では次のようなプロジェクトを第一次決定とした。
(詳細決定内容は御希望があれば送付しますので、ご連絡ください。)

都市再生プロジェクト（第一次決定）

1. 東京湾臨海部における基幹的広域防災拠点の整備
2. 大都市圏におけるゴミゼロ型都市の再構築
3. 中央官庁施設のPFIによる整備

- 都市みらい推進機構では、今回の「第一次決定プロジェクト」の今後の動向、その他のプロジェクトの検討状況など都市再生本部関連の情報は、今後も集中的に収集し、機会に応じて積極的に皆様に提供していきます。

(担当は、企画課長 浜田)

都市みらいカレンダー

財団

月	日	項 目	備 考
6	1	札幌「創世1.1.1区」推進連絡会	第12回 第3回
	5	芝浦研究会（全体会議）	
	6	都市再生本部関連ヒアリング実施（5/29～6/6）	
	8	大規模空閑地の土地利用転換推進に関する調査研究会	第4回
	11	都市再生本部関連ヒアリング結果を国土交通省に報告	
	13	芝浦研究会（幹事会）	
	20	財団理事会・財団評議員会	
	22	「蘇我特定地区」整備計画策定協議会ワーキング	
22	大規模空閑地の土地利用転換推進に関する調査研究会		
文京区音羽二丁目に移転 6/30, 7/1（引越し）			
7	2	移転先にて通常業務開始	第3回
	5	「蘇我特定地区」整備計画策定協議会	
	18	プロジェクト説明会（晴海トリトン）	

インテリジェントシティ整備推進協議会

6	6	都市IT化研究会（第3回ワーキング）	
	7	総会	

地方の拠点まちづくり協議会

6	1	「2025年のわがまち」～生き残るための都市戦略論 発刊	
---	---	------------------------------	--

都市地下空間活用研究会

6	4	定例懇話会	第16回
	8	都市交通施設分科会（幹事会）	
	13	評議員会・総会	第4回
	22	大阪分科会	
	28	中心市街地と地下街のあり方分科会	

人事異動のお知らせ

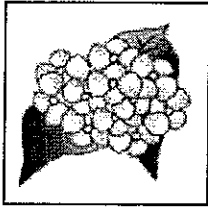
(6月15日付) 【退任】 開発調査部長 中沢 博幸

(6月16日付) 【新任】 開発調査部長 木瀬 晴也 (前: 都市基盤整備公団)

(7月1日付) 【異動】 企画調整部 部長 吾妻 勝 (前: 開発調査部部長)

開発調査部 部長 池田 勉 (前: 企画調整部部長)

あとがき



まちづくりは人づくり

最近、わが国最大規模のアウトレットモールである御殿場へ行ってみた。土曜日の午後だったが広大な駐車場はほとんど埋まり、団体客を乗せた大型バスが何台も駐車している盛況ぶりであった。

ここは雄大な自然の中で安価でブランド品を買うことができる。ショッピング自体が楽しい目的となるレクリエーションの場を提供している。アウトレットモールの業態は今後も全国各地で開業を予定していると聞く。

このような郊外型大型店の盛況ぶりに比べて各都市の中心市街地は衰退する一方であり、再活性化のための対策は待ったなしの状況である。

中心市街地の活性化には、輻輳する権利関係や相対的に高い地価問題、既存市街地の再構築など多くの課題を解決しなければならないが、成功しているといわれるまちには必ずと言っていいほど、まちづくりに対する熱い想い、情熱を持ったリーダーの存在がある。

中心市街地は都市の顔であり、晴れの場である。まち全体を一つのテーマパークとして捉え、単にものを売るだけでなく、来街する人が心地よく、楽しく時間を過ごすことができる場にするとともに、来街者をお迎えするという住民の共通認識を醸成できればまちは変わってくると思うのだが。

清水俊光

発行

財団法人 都市みらい推進機構

〒112-0013

東京都文京区音羽2-2-2 アベニュー音羽3階

TEL: 03 (5976) 5860

FAX: 03 (5976) 5858

kikaku@toshimirai.or.jp

<http://www.toshimirai.or.jp>



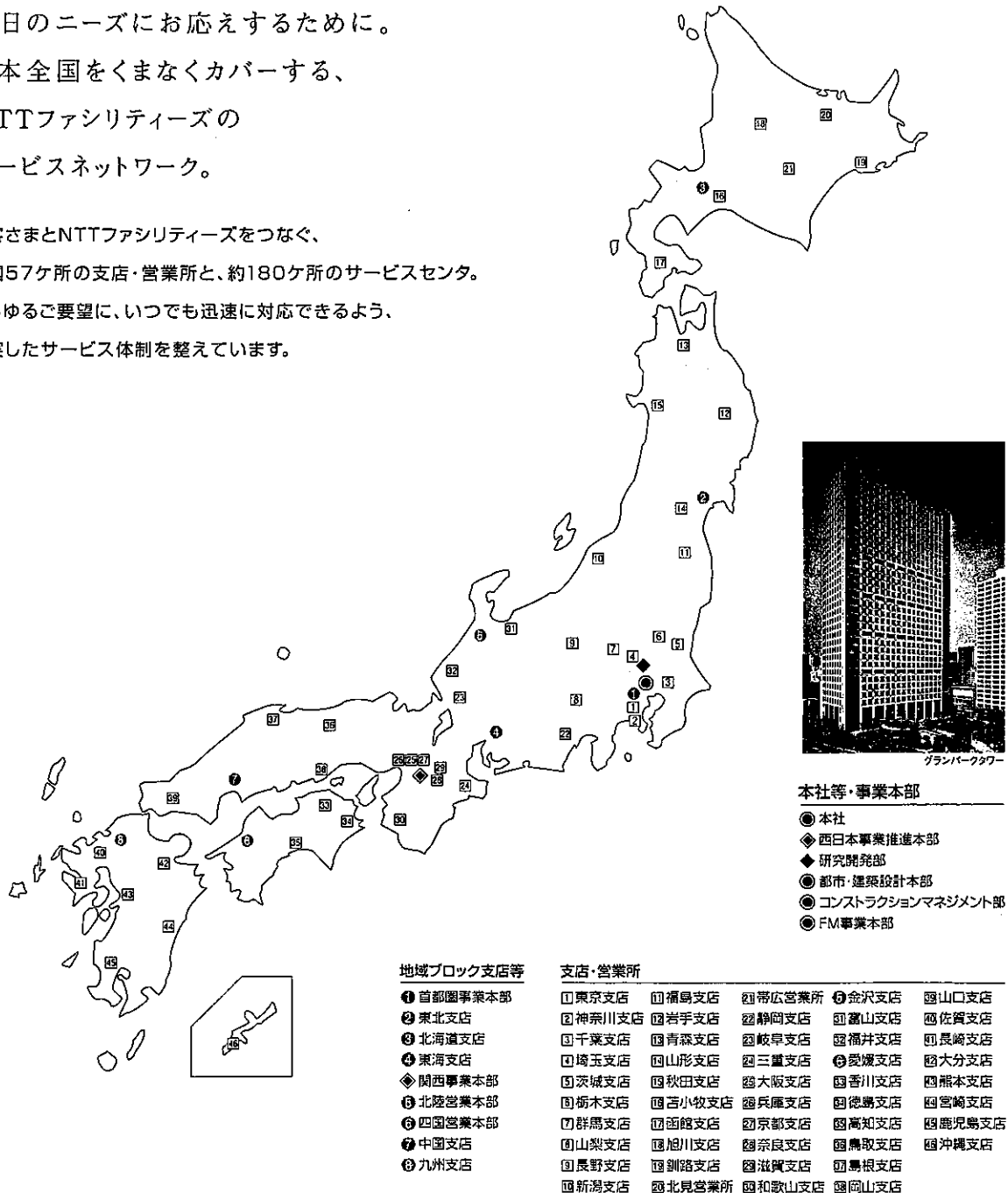
【会社概要】

- 会社名 株式会社 エヌ・ティ・ティ ファシリティーズ
- 所在地 東京都港区芝浦3-4-1 グランパ-タワー
(Tel:03-5444-5010 Fax:03-5444-5600)
- 資本金 124億円
- 株主 日本電信電話株式会社 (100%)
- 営業開始 平成4年12月1日
- 代表 代表取締役社長 布谷 龍司
- 主な業務
 - ・建築物に関する設計、監理
 - ・建築物に関する保守、維持管理
 - ・ファシリティマネジメント (FM)
 - ・コンストラクションマネジメント (CM)
 - ・リニューアルに係わる各種業務
 - ・地域開発、都市開発に係わる企画、コンサルティング及び設計

【全国ネットワーク】

明日のニーズにお応えするために。
日本全国をくまなくカバーする、
NTTファシリティーズの
サービスネットワーク。

お客さまとNTTファシリティーズをつなぐ、
全国57ヶ所の支店・営業所と、約180ヶ所のサービスセンタ。
あらゆるご要望に、いつでも迅速に対応できるよう、
充実したサービス体制を整えています。



- 本社等・事業本部
- 本社
 - ◆ 西日本事業推進本部
 - ◆ 研究開発部
 - 都市・建築設計本部
 - コンストラクションマネジメント部
 - FM事業本部

地域ブロック支店等

- ① 首都圏事業本部
- ② 東北支店
- ③ 北海道支店
- ④ 東海支店
- ◆ 関西事業本部
- ⑤ 北陸営業本部
- ⑥ 四国営業本部
- ⑦ 中国支店
- ⑧ 九州支店

支店・営業所

- ① 東京支店
- ② 神奈川支店
- ③ 千葉支店
- ④ 埼玉支店
- ⑤ 茨城支店
- ⑥ 栃木支店
- ⑦ 群馬支店
- ⑧ 山梨支店
- ⑨ 長野支店
- ⑩ 新潟支店
- ⑪ 福島支店
- ⑫ 岩手支店
- ⑬ 青森支店
- ⑭ 山形支店
- ⑮ 秋田支店
- ⑯ 小牧支店
- ⑰ 函館支店
- ⑱ 山梨支店
- ⑲ 長野支店
- ⑳ 新潟支店
- ㉑ 帯広営業所
- ㉒ 静岡支店
- ㉓ 岐阜支店
- ㉔ 三重支店
- ㉕ 秋田支店
- ㉖ 小牧支店
- ㉗ 函館支店
- ㉘ 旭川支店
- ㉙ 釧路支店
- ㉚ 帯広営業所
- ㉛ 金沢支店
- ㉜ 富山支店
- ㉝ 福井支店
- ㉞ 香川支店
- ㉟ 徳島支店
- ㊱ 高知支店
- ㊲ 鳥取支店
- ㊳ 山口支店
- ㊴ 佐賀支店
- ㊵ 長崎支店
- ㊶ 熊本支店
- ㊷ 宮崎支店
- ㊸ 鹿児島支店
- ㊹ 沖縄支店



【ご挨拶】

日々革新的な進歩が続いている、情報通信の世界。インターネットを中心とするIT時代の到来は、まさに革命といえるほどドラスティックな変化を私たちにもたらせました。社会や経済システムにおいても、このような変化に適応していくために、より高度な情報通信インフラストラクチャーの整備が急務となっています。

私たちNTTファシリティーズは、21世紀のIT環境におけるオフィスビル、病院等の医療・社会福祉施設、教育施設等、幅広いジャンルにわたり、企画・設計から維持管理、情報インフラを支える高信頼電源の開発など、情報環境を構築する“総合エンジニアリング・サービス企業”として、そのような時代の要請にお応えしています。

今年の4月より、都市みらい推進機構の賛助会員にお仲間入りし、他の会員の皆様とともに、都市再開発、街づくりに関わるチャンスをいただくこととなりました。

今後も、これからの時代の情報環境の創造を通じ、来るべき未来型社会の発展に貢献できるよう、より一層視野を広めて努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

（当社の特徴）

（株）NTTファシリティーズは、平成4年12月、日本電信電話（株）〔NTT〕より建築部門等が分社され誕生したNTTグループ企業です。

当社はNTTの所有するファシリティ（土地・建物・設備）“40,000棟の施設（通信・データビル、オフィスビル、病院、住宅等）、4,000万㎡の土地”を一元的かつ効率的に建設、維持管理し、様々な技術と豊富な経験を蓄積してきました。

700名を超える一級建築士を抱える“一級建築士事務所”として、再開発や建物の企画、設計、維持管理に関する業務を行っています。

都市開発や建物の建築設計において、
「美しい街並形成への寄与」を常に意識し、
開発・設計へ取り組み、
さらに環境やエネルギー課題にも配慮する

⇒⇒⇒ それが当社のモットーです。

